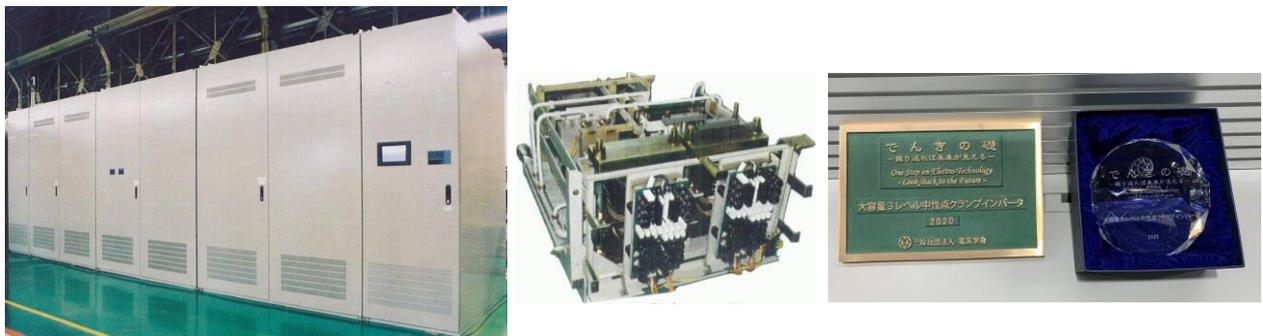


一般社団法人電気学会より第13回電気技術顕彰「でんきの礎」を受賞
- 「大容量3レベル中性点クランプインバータ」が顕彰対象 -

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:山脇 雅彦)は、一般社団法人電気学会が顕彰する、第13回電気技術顕彰「でんきの礎」*を受賞しました。TMEICを含めた6団体(長岡技術科学大学、株式会社日立製作所、株式会社東芝、三菱電機株式会社、富士電機株式会社、TMEIC)の同時受賞です。

今回の顕彰名称は「大容量3レベル中性点クランプインバータ」で、電気学会発表の顕彰理由は「1980年3月の電気学会全国大会において、長岡技術科学大学から3レベル中性点クランプインバータの提案とその動作を実証した論文が発表された。日本では1990年代から主要電機メーカーが実用化を開始し、同年代半ばには鉄鋼圧延電動機駆動用コンバータ・インバータや在来直流電车用電動機駆動インバータなどに採用され、その技術は大容量高圧インバータの発展に著しく貢献した」ことです。

TMEICは3レベル中性点クランプインバータの初期段階から実用化に取り組み、応用製品をお客様に供給してきました。今後も事業活動を通じ日本や世界の社会・産業の発展に幅広く貢献していきます。



圧延主機用10MVA 3レベルGTOインバータ外観とGTOパワーモジュール外観(1997年)

※「でんきの礎」(One Step on Electro-Technology)とは:

「でんきの礎(いしづえ)」は「社会生活に大きく貢献した電気技術」の功績を称え、その価値を広く世の中に周知して多くの人々に電気技術の素晴らしさ、面白さを知ってもらい、今後の電気技術の発展に寄与することを目的に、技術史的価値、社会的価値、学術的・教育的価値のいずれかを有する略25年以上経過した電気技術の業績を顕彰するものです(カテゴリーとして『人』『モノ』『場所』『こと』の4つを設定)。平成20年の電気学会創立120周年記念事業の一環として制度化しました。「でんきの礎」は今回の第13回で総計82件になります。(電気学会ホームページより抜粋:<https://www.iee.jp/>)

関連リンク(当社ホームページ):

「パワーエレクトロニクス」https://www.tmeic.co.jp/product/power_electronics/

「鉄鋼・アルミ・銅」<https://www.tmeic.co.jp/product/steel/>

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <http://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。